

[カルタップ・プロベナゾール粒剤]

農林水産省登録 第 2 1 1 4 1 号

性 状 : 類白色細粒

毒 性 : 劇 物

危 険 物 : ー

有効年限 : 4 年

包 装 : 3 kg × 8

STパダン® オリゼメート® 粒剤

有効成分 : カルタップ塩酸塩 4.0% プロベナゾール 8.0%

殺虫剤分類	14
殺菌剤分類	P2

オリゼメートは登録商標



「住友化学農業ガイド」の見方 : i- 農力サイトの「製品情報」、「農業ガイドを見る」から、「農業ガイドの見方」をご覧ください。
本剤の最新情報 : こちらのQRコードを読み取ると i- 農力サイトに掲載されている本剤の最新情報がご覧になれます。

〔適用と使用方法〕

作物名	適用病害虫名	10アール当り 使用量	使用時期*	総使用回数*
稲	ニカメイチュウ コブノメイガ イネツトムシ いもち病 白葉枯病 もみ枯細菌病	3 ~ 4 kg	30 日前	本 剤 : 2回 カルタップ : #1 プロベナゾール : #2

使用方法 : 散布

#1 : 6回 (浸種前は1回、浸種後から直播では種時又は移植時までの処理は1回)

#2 : 2回 (移植時までの処理は1回)



効果・薬害等の注意

- 本剤を使用した場合には、チオシクロラム又はベンスルスタップを含む剤は使用しない。
- 使用量に合わせ秤量し、使いきる。
- 予防的に散布した場合に有効である。葉いもち防除の使用適期日は、初発の7~10日前であるので、発生予察情報に注意して時期を失しないように散布する。穂いもち防除の使用適期は、出穂の3~4週間前である。
- 白葉枯病に対しては、移植後なるべく早い時期に使用の方が有効であるので、移植活着後 (移植後7~10日) なるべく早く使用する。
- 出穂以降の白葉枯病、もみ枯細菌病に対する使用適期は、出穂3~4週間前である。
- 砂質土壌及び漏水の大きな水田での使用はさける。
- 籾枯細菌病に対しては効果の不十分な場合があるので、籾枯細菌病のみを対象とすることをさけ、穂いもち病等との同時防除を目的として使用する。
- 湛水状態 (湛水深3~5cm) でまきむらのないように均一に散布し、散布後少なくとも4~5日間はそのまま湛水状態を保ち、田面を露出させたり水を切らしたりしないように注意し、また散布後7日間は落水、かけ流しはしない。



安全使用上の注意



- 医薬外用劇物。取扱いには十分注意する。
- 蚕に対して長期間毒性があるので、散布された薬剤が飛散し、桑に付着するおそれのある場所では使用をさける。
- 誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせる。
使用中に身体に異常を感じた場合には、直ちに医師の手当を受ける。
- カルタップによる中毒に対しては動物実験でL-システイン製剤の投与が有効であると報告されている。

(2022年10月19日現在の内容) 住友化学の農業支援サイト:i 農力<https://www.i-nouryoku.com/>

- 眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受ける。(刺激性)
- 皮ふに付着しないよう注意する。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とす。
(弱い刺激性)
- 散布の際は農薬用マスク、手袋、不浸透性防除衣などを着用するとともに保護クリームを使用する。作業後は直ちに身体を洗い流し、うがいをするとともに衣服を交換する。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯する。
- かぶれやすい体質の人は作業に従事しないようにし、施用した作物との接触をさける。
- 夏期高温時の使用をさける。
- 水産動植物(魚類)に影響を及ぼすので、養魚田では使用しない。
- 水産動植物(甲殻類、ドジョウ)に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用する。養殖池等周辺での使用はさける。
- 散布後は水管管理に注意する。
- 直射日光を避け、鍵のかかるなるべく低温で乾燥した場所に密封して保管する。

「[農業ガイドの見方](https://www.i-nouryoku.com/prod/search/) (<https://www.i-nouryoku.com/prod/search/> [農業ガイドの見方.pdf](#))」の「3. 注意事項：(1)、(2)、(3)、(4)－A」も合わせてお読み下さい。